熱中症の連絡体制と対応手順

現場名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　熱中症が疑われるときの報告先と搬送先

体調が悪いとき・悪そうな人を見つけたときは、すぐに周りの人と責任者に知らせる。

責任者	氏名	＿＿＿＿＿＿＿＿	電話	＿＿＿＿＿＿＿＿
代理	氏名	＿＿＿＿＿＿＿＿	電話	＿＿＿＿＿＿＿＿
会社	担当	＿＿＿＿＿＿＿＿	電話	＿＿＿＿＿＿＿＿
医療機関	名称	＿＿＿＿＿＿＿＿	電話	＿＿＿＿＿＿＿＿

所在地 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

救急車　119番　意識の異常等があれば、ためらわずに救急隊を要請する。

2　熱中症のおそれのある人への対応の手順

熱中症のおそれのある人を発見

熱中症が疑われる症状例：
ふらつき・生あくび・失神・大量の発汗・痙攣・
めまい・筋肉痛・筋肉の硬直(こむら返り)・
頭痛・不快感・吐き気・倦怠感・高体温 等

▼

作業離脱、身体冷却

休ませる場所 ＿＿＿＿＿＿＿＿

冷やす物 ＿＿＿＿＿＿＿＿

▼

意識の異常等
返事がおかしい・ぼーっとしている など

異常等あり → **救急隊要請(119番)**
→ 医療機関への搬送

▼ 異常等なし

自力での水分摂取

できない → **医療機関への搬送**

▼ できる

経過観察

回復しない、症状悪化 → **医療機関への搬送**

・医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない(単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する)。
・判断に迷う場合は、#7119等を活用するなど、専門機関や医療機関に相談し専門家の指示を仰ぐ。
・回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、異変があれば報告先に知らせる。

作成日 ＿＿＿＿ 年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日

株式会社○○建設